

夢 招く 舞鶴

69 回生 舞鶴高校の生活がスタート！

平成三十一年度 入学式 式辞 校長 大久保和弘



「朝日に映えてそびえ立つ 由布連山のおおらかなさ」

我が大分舞鶴高校の校歌はこの一節から始まります。春爛漫を迎えて、由布連山は緑を深め、大分川の川面は一層きらめきを増し、花々は柔らかに頬を撫でる風にそよいで目に彩りを添えています。

本日ここに多数のご来賓並びに保護者の皆様方のご臨席を賜り、大分県立大分舞鶴高等学校 第六十九回入学式を挙げて下さることを心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可しました新入生の皆さん、入学おめでとう。在校生、教職員一同心から皆さんを歓迎します。

本校は昭和二十六年に創設され、今年で六十九年目を迎えます。この間にこの学び舎を築いた卒業生は二元、五四九名、あまたの人材が政治、経済、文化学問、スポーツなどあらゆる分野において活躍し「大分舞鶴」ここにありと世に知らしめています。「生まれがなばれ ねばれ おしきれ」の舞鶴魂を胸に雄々しく活躍する先輩の高い志に思いを馳せ、新入生の皆さんはその輝かしい伝統を受け継ぎ、大分舞鶴高校の名を

らに高めていく使命があることをま心に刻んでください。

さて、今皆さんの胸にはどんな思いが巡っているのでしょうか。高校生活に対する期待、頑張ろうという決意、それとも不安でしょうか。今日から舞鶴高校生として歩み始める皆さんに入学にあたってこの言葉を紹介します。

アメリカ初の黒人メジャーリーガー ジャッキー・ロビンソンは言葉です。激しい人種差別に耐え、大リーグの歴史に輝かしい足跡を刻んだ彼はこう言い残しています。

「不可能の反対語は可能ではない。挑戦だ。」

ジャッキー・ロビンソンは言います。「できない」の反対は「できる」ではなく、「やる」、なのだ。つまり「やらない限り絶対にできない」、「挑戦しないから、できない」のであって、逆に言うところ「挑戦する、からできる」わけです。だから何より大切なのは「やるぞ！」という強い気持ちであり、その強い気持ちが不可能を可能にするのです。

もう一つ紹介します。今のパナソニックを興した松下幸之助の言葉です。彼が人からどうやたらあなたのように成功できますかと聞かれたときに、こう答えたそうです。「あきらめてしまつたら失敗

【舞鶴魂】
生まれ がんばれ
ねばれ おしきれ
舞鶴教育新聞
発行：大分舞鶴高校

るんだ。成功の秘訣は、成功するまで続けることである。」さらにまた、掃除機で有名なジエームズ・ダイソンは、サイクロン掃除機の開発にあたって、実に五、一六六個もの試作品を作つては壊し、五、一七七個目でやっと完成させたといわれています。

以上三つの例に共通するのは「やる」こと、挑戦すること。つまり行動を起す勇氣とあきらめない勇氣です。

もちろんうまくいくことばかりではありません。むしろ失敗する、うまくいかないことの方が多いかも知れません。しかし失敗を恐れて立ち竦んでいてはいけないのです。本当の意味での失敗とは、やつてできなかったことではなく、やりきれないまま途中であきらめてしまつたことなのです。是非とも結果を恐れず何事にも何度でも勇氣を持って挑戦してください。

高校での三年間は人間としての充実を図る貴重な時間です。高校生になるというのは単に通学する校舎が変わることではありません。皆さん一人ひとりが自覚をもち責任をわきまえたたくましい人間へと成長することなのです。

今日を境に、皆さんには子ども気分を別れを告げ、社会を構成する一員としてルールを守り、責任ある立ち居振る舞いをすることを望みます。明日からは勉強はもち

ろん部活動、生徒会活動、ボランティア活動をはじめ趣味や研究などさまざまなことに積極的に取り組んでください。今日は人生における一つの区切りの日です。新たな気持ちで新たな一歩を踏み出してください。

「不可能の反対語は可能ではない。挑戦だ。」「続ける限り負けはない。」入学という新たなスタートラインに立つたみなさんに改めてこの言葉をかみしめてほしいと思います。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」幕末の志士 吉田松陰の言葉です。君たちの先輩はこの言葉を次のように変換して舞鶴生としての日々を過ごしています。それは「夢ある者に理想あり、理想ある者に計画あり、計画ある者に実行あり、実行ある者に成功あり、ゆえに夢ある者に成功あり」

何かを成そうと思えば心に強く熱い思いが必要です。本校の校歌一番の続きは「高き希望と限りなき夢抱かばや この胸に」です。まさに、すべては夢や希望を持つことから始まるのです。

高校生活は、授業内容のレベルも上がり、進み方も早くなり、課題も出ます、勉強に追われます、一方で部活動や生徒会活動、友人との語り合いもあります。時間がいくらかあつても足りない日々です。でもその中にこそ楽しさがあります。満たされる思いがあります。喜びがあります。これからの生活は忙しさと楽しさが同居する毎日です。目標に向かって額に汗をかき、心にも汗をかく。その途中途中で得られる達成感これこそが何物にも代えがたい充

実感となるのです。それが舞鶴高校生なのです。新入生のみなさん、大きく息を弾ませて飛び込んできてください。さて、保護者の皆様、お子様の晴れの入学、誠におめでとうございませう。大分舞鶴高校は「伸びる舞鶴伸ばず舞鶴を合い言葉に他を圧倒する高いレベルの文武両道を実践しています。」「生まれ がんばれ ねばれ おしきれ」の舞鶴魂は広く全国にとどろき、今なお脈々と受け継がれています。この言葉にどれほどの先輩たちが心を揺さぶられ、奮い立つてきたことでしょうか。この伝統にさらに磨きをかけるべく、そしてお子様が舞鶴魂を自分の生き方で体現できるよう学校と家庭と手を携えてお子様のたくましい成長を支えていきたいと思つています。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

秋田県の高橋生、佐藤瑞穂さんが詠んだ短歌があります。

「通学路 寝ぐせが揺れる
そ風は ノンフィクションの
今日が始まる」

寝ぐせを直す暇もなく家を飛び出して、急ぎ足か自転車か、息を弾ませて学校に向かうこの女子生徒、今日はどうな一日になるのだろうか、その筋書きのない一日に期待し、心弾ませている様子が目に浮かびます。このとき間違いなく彼女は充実しています。

今日からこの短歌の主語は、君たちです。同じく、東京都の高校生、佐藤航君の短歌

「新緑の
木々の間を 抜けてゆく
覚えたばかりの 校歌とともに」

新しい高校生活に胸躍らせて自転車や軽やかに漕いでいる新入生の姿が見えるようです。この短歌の主語も、今日から君たちです。

「通学路 寝ぐせが揺れる
そ風は ノンフィクションの
今日が始まる」

「新緑の
木々の間を 抜けてゆく
覚えたばかりの 校歌とともに」

そして今日、君たちのノンフィクションの日々のスタートです。

「生まれ がんばれ ねばれ おしきれ」
栄光の舞鶴魂を胸に、新入生の皆さんのあふれる情熱と冬夜の若々しい躍動に期待して、式辞といたします。

平成三十一年四月九日
大分県立大分舞鶴高等学校
校長 大久保和弘



～ 67回生/68回生/69回生 各学年主任からのメッセージ ～

「仁」



三学年主任 安部 隆実

光陰矢のごとし、入学式やマリ... カルチャーセンターでの教育合宿... 早いもので、67回生が入学... 3回目の春を迎えました。いよ... 「仁」を目標に掲げた67回生... も最終学年となります。受験に、部... 活動の最後の大会に、あなたの... 「仁」が試される、勝負の一年とな... ります。2年3学期、いや、3年0... 学期に、「受験を通じて成長するこ... と」を皆さんに話してきましたね... まったく同じ話を先日の学年集会で... 進路主任がしてくれました。受験や... 部活動最後の大会は、その時だけ頑... 張れば結果が出るものではありません... 準備、毎日の部活動の練習やミーテ... イングなど、そこに至るまでの準備... が、あなたを人間的に成長させてく... れるはずですよ。ぜひ、一日一日を充... 実させてください。そして、大きく... 人間的成長を遂げ、あなたの「夢」... を叶えましょう！

とはいえ、今まで感じたことのない... 重圧を感じることもありますが、挫け... そうになることもありません。そ... こで私は、昇降口正面に小さな黒板... を置かせてもらおうとしました。... 毎日毎日、少しでも皆さんの心を勇... 気づけることができたならと考え、有... 名人や偉人の名言を紹介していこう... と思います。以下はその一例です... 20世紀初頭の米国映画黎明期の大... 女優メアリーピックフォードの言葉... です。「失敗とは転ぶことではな... く、そのまま起き上がらないことな... のです。」(ちなみに、実力考査が多... くの教科で返却された日の黒板で... す。・・)こんな風に、時期に合っ... たものを紹介していきますので、ぜ... ひ登校して一番に見る言葉で、1年... 間楽しみにしていたくださいと思っ... ます。

また、4月当初の学年集会で、私... は皆さんにある先輩の話をしました... ね。彼の名前を覚えてくれているで... しょうか？ 36回生の宮崎嶺さん... の話でしたね。少しおさらいをし... てみましょう。30代半ばで、世界... 中の困っている人々を助けたい... という志を胸に、安定した職を辞... し、国際ボランティアの道を行ん... だ人です。そんな彼は、2011... 年11月のトルコ東部地震の直後、... 難民を助ける会(通称ARRジャバ... ン)の災害派遣ボランティアとし... て現地を訪れました。その際に余... 震に遭い、宿泊したホテルが倒壊... し、まさに志半ばで亡くなってい... まいました。8年がたった今でも... も、トルコ国民に「知っている日... 本人は？」と尋ねると彼の名前が... 多くあがるそうです。また、地震... の2年後にはイスタンブール郊外... に彼の名を冠した公園も造営され... ました。学年集会で語った通り... 私は彼の話を、美談として皆さん... に話したのではありません。ま... た、舞鶴のすぐ先輩の話として... したのではありません。自分の夢... を見つけ、その夢実現に一途に突... き進んだ先輩の話として、皆さん... に語ったつもりです。今年も皆さん... にとって「決断の年」でもあり... ます。宮崎さんのように、自分を... 見つめ、夢を見据え、その夢に適... 進してほしいと願っています。

「闘志と思いやり」



二学年主任 堤 大輔

十年一昔と言いますが、今から... 十年前の平成二十一年四月、舞鶴... 高校に転勤してきた当時のことを... 思い出します。57回生、三年... 生の担任に配属されました。校舎... 四階から眺める大分川の雄大な流... れ、爽やかに吹く風、満開の桜、... ずっと見ても飽きない風景で... した。他校から見た舞鶴高校は、... 最後にとんでもなく伸びる、とい... う印象でした。その理由を探し、... たどり着いた結論は、舞鶴魂のも... と「あらゆることに全力を尽く... す」ということでした。当時のラ... グビー部は全国大会でもシードさ... れ、テニス部は初の全国大会ベス... ト8入り、バスケットボール部は... 2年連続ウィントカップベスト... 16、カヌー部は全国大会決勝進出... が当たり前、吹奏楽部・音楽部も... 九州大会に連続出場等々、今以上... に部活動で結果が出ていました... 引退後、部活動で培った全力疾走... は学習に切り替わります。常に全... 力で向かっていくDNA、それが... 舞高生だと感じました。この一年... 間で舞高DNAがしっかりと刻み... 込まれたはずですよ。

昨年、「闘志と思いやり」「史... 上最高学年計画」を打ち出しまし... た。今年度は上野丘高校との交流... 戦に始まり、SDGs(持続可能... な開発目標)に基づき自分の進路... についても深く考える機会となる... 普通科の課題研究、志望校を具現... 化するためのオープンキャンパス... ス、学年が中心となって行う柏葉... 祭、コミュニケーション能力の育... 成・英語力の強化を目指したオー... ストラリアへの修学旅行、毎日の... 7限の授業、厳しい練習の毎日... ある部活動、英語の外部検定、ボ... ランティア活動など、史上最高学... 年となるための活動が満載です... 舞高DNAとともに一つずつの活... 動に闘志を持って全力で取り組ま... せていきます。後には日々教職... 員が万全の体制で控えています。... 生徒と保護者の皆様、教職員が一... 丸となって活気にあふれた学年に... していきましょう。

「跳ぶ」「高く、遠くへ」



一学年主任 小野 崇

「過去にしがみついたり、下に... いる人間と見比べて自分をほめたり... するな。夢を築きそうに語るだけ... で何もしなかったり、そこそこの... 現状に満足してどまったりする... な。」

ある実存主義の哲学者の言葉だ... 勝利者はまた臆病者でもある... 人は、競争社会においてある程度... 勝利を収めてきた者ならなおさ... ら、味わつてきた優越感を忘れ... らず、敗北による劣等感に陥るこ... とを恐れるが故、挑戦することに... 二の足を踏んでしまうからだ。ま... た、人の夢は儂いもの。実現に向... けた努力を怠ればすぐに覚めて消... えてしまう。今、世の中はかつて... ないスピードで変化している。現... 状維持は後退に等しい。そういう... 時代だからこそ、前に進んで行か... なければならぬ。その勇氣を持... つ者こそ真の強者である。

69回生を迎えるにあたり、私... たち1学年は「跳ぶ」という言葉... をスローガンとして掲げた。自分... の足でしっかりと立つ。目標は自... 己記録の更新だ。はじめはゆっく... り、徐々にスピードを上げ、タイ... ミングよく思い切り踏み切る。そ... う、走り幅跳びのイメージだ。高... い目標の達成に向け、誰かに頼... るのではなく、自分の力で、一度... 二度の失敗で諦めず何度でもチャ... レンジしてほしい。挑戦した結... 果、目標が達成できなくてもそれ... は恥ではない。やれるのにやろう... としないことこそ恥かしいのだ... 。

さて、「跳ぶ」ために必要なこ... とは何だろうか。第1に準備を入... 念に行い、足元をしっかり固める... ことだ。地道な基礎練習を積み重... ね、強固な土台を築くことだ。そ... れは日々の授業を大切に、予... 習・復習を欠かさずことごとく、課... 題の提出期限を守ることから始ま... る。また、生活をマネジメント... し、健康管理を怠らないことや、... 部活動に毎日精を出すことも必要... である。

第2に、自分から進んで動くこ... とだ。教師や親から言われる前... に、自分で考えて行動を起こすこ... とだ。

もちろん、やっつけていいこと、悪... いことの分別は充分ついているこ... とを前提としているのは言うま... でもない。間違ってもよい、失敗し... てもよい。学校というところは、... それを学習するところなのだか... ら。迷ったら動いてみよう。舞鶴... 高校という枠から飛び出し、... 縦横無尽に動き回ってもらいた... い。

第3に、「負けず嫌い」を貫く... 事だ。他人に対してというよりは... むしろ、自分の弱さにも負けない... ことの方がより肝心だ。自分を高... めるのも自分なら、甘やかすのも... 結局は自分自身だ。自分の怠け心... に負けないこと、これが大切だ... 。

最後に「覚悟を決める」こと... だ。入学式で新入生は「生まれ... がんばれねば、おしきれぬ... 舞鶴魂」と高い志のもと、生徒とし... ての本分を自覚し、自己の夢の実... 現を目指して学力の向上と心身の... 鍛錬に努めることを誓った。授... 業の進度は早い、課題は多い、部... 活動はハード。生徒にとっては確... かに厳しい環境かもしれないが、... 入学した以上は、覚悟を決めてそ... れに立ち向かってもらいたい。舞... 高生はその厳しさを逆に誇りと自... 信に替えてきた。その苦しさを友... とともに乗り越えるたびに友情を... 深めてきた。声を合わせて舞鶴魂... を叫ぶとき、舞高生はそれ故、強... い一体感を感じるので。69回生... の高校生活もきつと充実したもの... となるに違いない。

新入生はまた、「栄誉ある歴史... と伝統をしっかりと受け継ぎ、そ... の上に新しい輝きを創造し刻みつ... ける」ことを誓った。諸先輩方が... 築き上げてきた良き伝統をしっかりと... りと守り、さらに高めて次代へ譲... り渡す。それはその世代の義務で... あり責任である。

本校は来年、70周年を迎え... る。その時、69回生は舞鶴高校... の中心、中堅学年として役割を果... たさなければならぬ。この1年... 間でどれほどの成長を見せるか、... おおいに期待する。

さて、冒頭に紹介した哲学者の... 言葉の続きを最後に付す... 「絶えず進め。より遠くへ。より... 高みを目指せ。」



